



学校だより

令和8年3月25日発行

<第7号>

札幌市立宮の丘中学校

学校ホームページ <https://www.miyanooka-j.sapporo-c.ed.jp/>

令和7年度を終えて

校長 細川 直久

残雪も見られ、まだ肌寒い日が続いておりますが、日ごとに春の訪れを感じる季節となりました。子どもたちも厳しい冬を乗り越え、どこか表情が和らいできたように感じられます。

先日行われた卒業証書授与式は、大変感動的で心に残る素晴らしいものとなりました。最上級生として堂々とした姿を見せた3年生は、誇らしげな表情で新たな道へと歩み出していました。

卒業式のような儀式には、これまでの歩みを振り返り、自らの成長を実感するとともに、新たな一歩を踏み出す節目としての大切な意味があります。また、その場に関わるすべての人の思いが一つにつながる、かけがえのない時間でもあります。

その式を支えたのが在校生の姿でした。1、2年生は、卒業生への感謝と祝福の気持ちを込めて準備を進め、教室や玄関、校内ホールを美しく装飾しました。当日も立派な態度で式に臨み、その真心は卒業生にとって何よりの贈り物となったことと思います。

この一年間を振り返ると、子どもたちは授業や学校行事、委員会活動、部活動など、様々な場面で一生懸命に取り組み、それぞれの役割を果たしながら着実に成長してきました。また、日々の学校生活の中で、仲間と喜びを分かち合い、時には悩みながらも乗り越え、表情豊かに過ごしてきた姿が印象に残っています。こうした積み重ねこそが、子ども一人一人の確かな力となっています。

本校では、学びを通して自ら成長し続ける力を育むことを大切にしております。今後も子どもたちが学びを止めることなく、自分の可能性を広げていくことを願っております。

新年度からは、2年生が最高学年として学校をリードする立場となり、1年生は後輩を迎える先輩となります。子ども一人一人が「どのような自分になりたいか」を思い描きながら、新たな一年を迎えてほしいと考えております。

保護者の皆様、地域の皆様には、この一年間、本校の教育活動にご理解とご支援を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。今後とも変わらぬお力添えをお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

離任・退職する教職員



今の2学年と同じ、二年前に着任した時から、在校生やその保護者、PTA関係の皆さん、そして教職員からもあたたかく自分を迎えていただくことができ、今日まで充実した素晴らしい日々を送ることができたことに、まずは深い感謝をお伝えします。宮の丘中学校に関係する皆さんは多くの気遣いや礼儀をもって、年齢に関係なくそれが手本として自分自身、教えられてきた二年間でした。

今、こうしてお別れの時期となってしまいましたが、皆さんのこれからの一層の活躍を心から願っています、ありがとうございました。

(教頭 蒲谷 貴史)

先日の卒業式では3年生の門出を在校生のみなさん、保護者の皆様にお祝いいただきました。ありがとうございました。私自身も8年間、宮の丘中学校で多くの方々に支えていただき、学び、成長することができました。本当にお世話になりました。これからの宮の丘中学校の更なる発展を祈念いたします。 (国語科 菅原 健太)

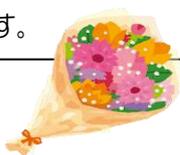
教員として採用されてからの7年間、大変お世話になりました。転勤が決まった今、宮の丘中学校に育ててもらったことへの感謝の気持ちで溢れています。私にとって第二の母校のような、大好きな学校です。みなさんも宮中生としての誇りをもって、様々なことにチャレンジして成長してってください。お元気で。 (社会科 笹山 堅矢)

5年前に転勤して以来、生徒の皆さんが明るく意欲的にいろいろな活動に取り組む姿を見るたび、皆さんの成長を感じることができ、たくさん元気をもらいました。

この度、同じ西区の八軒中学校に転勤することになりました。宮の丘中学校の皆さんの活躍する様子が聞こえてくることを楽しみにしています。5年間お世話になり、ありがとうございました。 (数学科 三川 秀子)

母校から分かれた学校への赴任に、不思議な縁を感じ、皆さんの素晴らしい合唱も聴けて幸せでした。久しぶりの担任、そしてたくさんの方々の行事など、元気で優しい生徒達と皆様のご協力のおかげで、頑張ることができました。ありがとうございました。春からは東区の明園中学校で勤務します。生徒の皆さん、卒業までの貴重な時間を存分に活かし、しっかりと根っこを育て、たくましく豊かな人生を送ってください。 (国語科 飯田 晃子)

3年間大変お世話になりました。宮中の生徒はとても人懐っこく、図書館もたくさん訪れてくれて、楽しい時間を過ごすことができました。また、図書局員は働き者でアイデアも豊富で、いつも私を助けてくれました。感謝の気持ちでいっぱいです。宮の丘中のみなさんが、これからもたくさんの良い本との出会いがあるよう願っています。 (学校司書 山本 三奈)



あっという間の7年間でした。生徒の人数が少なめでアットホームな「7組」でした。宮の丘中は、生徒の皆さんも先生方も温かく、通常学級の皆さんとも授業や行事と一緒に活動ができ、たくさん助けてもらいました。お陰で毎日楽しく過ごすことができました。たくさんさんの素敵な思い出をありがとうございました。これからも皆さんが自分らしく輝いていくことを期待しています。本当にお世話になりました。

(特別支援 根津 幸路)

学校の裏山で鹿の家族？を見ることができる素晴らしい自然環境の中で、明るく思いやりのある生徒の皆さんと一緒に活動し、充実した毎日を過ごすことができました。授業や生徒会活動を通して、たくさんさんの元気と感動をもらいました。本当にありがとうございました。皆さんの更なる成長と活躍を願っています。5年間お世話になりました。 (数学科 水口 修生)

2年前に転勤してきて、あっという間に時間が過ぎました。自分の卒業した中学校から分かれた学校に来られて懐かしい思いで2年間過ごしました。生徒の皆さん、残された中学校生活を大切にしてください。「今、頑張らずにいつ頑張る！」この言葉は、京都大徳寺大仙院の和尚の言葉です。この言葉を皆さんに贈ります。何事にも頑張ってください。 (技術科 大村暢彦)

教員として最後の2年間を宮の丘中で過ごせたことは、私にとって大変幸せなことでした。素直で明るい生徒たちとの学校生活は数多くの楽しいエピソードで綴られていました。またPTAでは熱心に活動して下さる保護者の皆様にも支えていただきました。本当にありがとうございました。(拠点校指導員 伊藤 尚子)

「保健室」という窓を通して見えたのは、子どもたち一人ひとりがそれぞれに、一所懸命に頑張ろうとしている姿でした。強い風に吹かれることがあっても、若い枝が簡単に折れてしまわないように、宮の丘中学校の子どもたちも、伸びやかに、しなやかに、心豊かに成長していくことを願っています。保護者の皆さまにも大変お世話になり、ありがとうございました。

(養護教諭 椎名 郁子)

*なお、別紙にて学校評価結果等をお知らせするプリントがありますので、ご覧ください。